

News Release

2013年9月4日

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

2013年 Global Venture Capital Survey

日本のベンチャーキャピタルに楽観論が広がる
～ 新興国に対する投資意欲は沈静化 ～

Deloitte 及び National Venture Capital Association(米国ベンチャーキャピタル協会)が行った「2013年 Global Venture Capital Survey(2013年世界ベンチャーキャピタル調査)」によると、日本の投資家の楽観論が広まる中、中国・インド・ブラジル等の新興国では投資家の意欲が弱まってきている事が明らかになった。

投資分野として、世界の投資家は IT 分野に注目。特にクラウドやモバイル関係への関心が高まっている一方で、エネルギー・クリーンテックが人気を下げている。日本では特にモバイルとヘルスケア IT に注目が集まっている。

今回の調査は 2013 年 5 月から 6 月にかけて、米州・ヨーロッパ・アジア・イスラエルのベンチャーキャピタル、Private Equity、Growth Capitalの投資家 400 社以上を対象に実施。特定地域・特定産業への投資意欲、景況感など、世界のベンチャーキャピタル(VC)の投資環境に影響する様々な要因に関して意識調査が行われた。参加者は各項目に関して 5 段階(1 が最も悲観。5 が最も楽観)にて Confidence レベルの評価を行い、これを数値化している。

世界経済に対する Confidence レベルは昨年比 17 ベースポイントアップし、平均値は 2.87 であった。投資家の過半数(61%)は世界経済に関してニュートラルな見方をしている。日本の投資家は 3.24 と、最も Confidence レベルが高かった。

また、海外投資よりも国内投資を重視する投資家が増えており、特にドイツ(4.11)と日本(4.04)では自国への投資に対する Confidence レベルが平均数値(3.53)を大きく上回っていた。昨年の調査では、日本の投資家の自国投資に対する Confidence レベルが 3.07 だった事を考えると大きな変化である。この他にも、自国のマクロ経済、自国の資本市場、世界の資本市場に関し、日本の投資家の Confidence レベルが一番高かった。

自国政府によるベンチャー関連政策の実行能力に対する Confidence レベルも、全体平均の 2.51 に対して日本は 3.56 と一番高かった。これも下から 3 番目だった昨年 (2.26) に比べると、日本の投資家のマインドが大幅に改善している事が解る。

今年の調査では、新興国に対する世界の投資家の見方が冷え込んできた事が明らかになった。投資対象国としての興味度合いとして、ブラジルは 3.3 (昨年比 22 ベースポイントダウン)、中国は 3.26 (昨年比 19 ベースポイントダウン)、インドは 3.17 (昨年比 7 ベースポイントダウン) だった。

投資対象国としての日本の人気は 2.74 と、調査対象の 15 か国のうち 14 番目だった。国内投資家の Confidence レベルは高いが、国際的には投資対象国として認知されるには至っていない。但し、昨年と比べた人気上昇率は 9% と、調査対象中でトップであり (平均 0.71%)、注目度は上がっている。投資対象国として人気が高いのは米国 (3.79)。続いてイスラエル (3.55)、ブラジル (3.33) が続いている。

ベンチャー投資対象としての人気業種ベスト3は、(1)モバイル、(2)クラウド・SaaS、(3)企業向けソフトであった。逆に人気がないワースト3は半導体、ハードウェア、エネルギー・クリーンテックであった。米国の VC にとっての人気業種ベスト3は、(1)クラウド・SaaS、(2)モバイル、(3)企業向けソフト。ワースト3はエネルギー・クリーンテック、半導体、ハードウェア。日本の VC にとっての人気業種ベスト3は、(1)モバイル、(2)ヘルスケア IT、(3) 消費者向けソフト。ワースト3は半導体、ハードウェア、エネルギー・クリーンテックであった。

この調査結果に対し、日本ベンチャーキャピタル協会の安達会長は、「政府を挙げて成長戦略が打出され、とりわけベンチャー企業のフロンティアとしての役割の重要性が叫ばれる中、VC 各社の先行期待感が現れたものと認識している。

一方、投資対象国としての日本の人気が未だ低迷していることに対しては、情報発信力という観点を含め、日本の戦略の欠如によることが大きいと考える。Global VC Congress, Asia VC&PE Council 等の場を通じて、積極的にアピールしていくことも行っていきたい。今回のサーベイの結果を踏まえて、VC 各社の成功事例の積み重ねと海外投資家への IR 活動の充実に繋げていきたい。」と述べている。

以上